

## 5 障害のある子どもや外国人の子どもなどの読書活動の推進

### 子どもと保護者への取り組みの充実

| No. | 事業名  | 事業内容  | 区分 | 状況 | 指標 | 平成20年度(2008年度)実績 |   | 関係部局・団体     |
|-----|------|---|----|----|----|------------------|---|-------------|
|     |      |   |    |    |    | 実績               | 実施状況と課題   |             |
| 97  | 読書活動 | 保育や教育の場で子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせや子どもと本をつなぐ取り組みを行う。 | 継続 |    |    |                  | 紙芝居や絵本、布絵本を活用し、ベッドサイド学習の生徒に対して読み聞かせを行っている。布絵本の手触りや美しい色調の絵に引きつけられ、楽しんでい<br>る。教材作りなどにも多いに参考になっている。  | 刀根山支<br>援学校 |
|     |      |   |    |    |    |                  | ・通園児に対して・・・保育室や待合室に子どもが自由<br>に手に取ることができるように本棚を設置。ひとりの子<br>どもが選んだ本をクラスで読み聞かせを繰り返すう<br>ち、クラス全体でも好きな本になり、そこから遊びに発<br>展することも多い。保護者にクラス懇談会や月のおた<br>より等で、そんな子どもの姿を紹介しながら、絵本や<br>お話が子ども同士をつないでいるということを伝えて<br>いる。引き続き取り組んでいきたい。<br>・外来訓練利用児(年齢は主として3歳未満児対象)に<br>ついては、毎週水曜日に保育の場を提供しているが、<br>毎回絵本の読み聞かせを行っている。子どもたちが絵<br>本を楽しむ姿を保護者の方に知ってもらおうと同時<br>に、その時々絵本が、なぜ、子どもたちの心を捉えるの<br>か、というようなこともピンポイントで伝え、保護者の方<br>自身に、子育ても絵本も楽しんでもらう場としての取り<br>組みをしている。 | しいの実<br>学園  |
|     |      |   |    |    |    |                  | 設定保育の導入や、給食準備中、自由あそびの時等<br>に絵本を読む機会をもっている。保育の中で読んだ本<br>を、動く図書館で見つけて借り、家庭で読んでもらうこ<br>ともあった。登降園のバスの中で、お友達が見ている<br>本に興味をもち、次にその本を見る姿もある。絵本の<br>お話しが、クラスのおそびに発展することもある。また、<br>絵本に興味がないと思っている保護者に、子ども<br>が興味を持ちそうな絵本を紹介してきた。引き続き、保<br>育の中に、絵本を積極的に取り入れていきたい。   | あゆみ学<br>園   |
|     |      |   |    |    |    |                  | 朝の会や授業などで紙芝居や絵本などを一緒に読<br>み、話を楽しんだり、国語の勉強に役立てている。また、<br>本の内容からものづくりや数の学習に発展させたりも<br>している。   | 豊中支援<br>学校  |

| No. | 事業名                 | 事業内容  | 区分 | 状況 | 指標               | 平成20年度(2008年度)実績  |  | 関係部局・団体                                |
|-----|---------------------|---|----|----|------------------|---|--|--|
|     |                     |   |    |    |                  | 実績  | 実施状況と課題  |  |
| 98  | 「おやこでにほんご」          | 地域に暮らす外国人親子が安心して参加することができる親子参加型日本語教室を図書館で継続して行う。                                  | 継続 | 継続 | 実施回数<br>参加人数     | 「おかまち・おやこでにほんご」年34回<br>外国人大人113人、外国人子ども107人、ボランティア大人188人、ボランティアの子ども86人、計494人。「しょうない・おやこでにほんご」年37回<br>外国人大人80人、外国人子ども49人、ボランティア大人196人、ボランティアの子ども140人、計465人 | 「おやこでにほんご」(岡町図書館と庄内図書館で毎週火曜日10時～12時に活動)は、地域で孤立しがちな外国人親子が気軽に安全に安心して参加出来る所として、子どもの読書推進だけでなく、外国人親子の居場所、母語継承の問題など、地域課題の一つであるマイリティ市民の抱える課題解決につながる図書館事業となっている。また、今年度は、地域支援保育士が立ち寄る(出前保育講座)など、少しずつ認知度も高まっている。活動には毎回数組の外国人親子が参加し、日本語にふれたり、幼稚園や小学校の子どもがいる外国人保護者にとっては園や学校とのやり取り(便りや催し)について相談できる場となっている。活動では、図書館で行っていることを活かして、読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどのプログラムを積極的に行っている。読み聞かせには、季節の行事をテーマにしたものを選書することもあり(例えば、節句、お月見、節分など)、絵本を通して日本の文化にふれる機会の提供や、子どもたちが日本の園や学校文化に慣れることにつながっている。読み聞かせは、日本語だけでなく、外国人保護者が母語の絵本の読み聞かせを行うことで、子どもが母語や母文化にふれる機会になっている。外国人親子が日本社会で生活していく上で、日本語は必要不可欠であるが、親子のコミュニケーションや母語の継承、子どもの心を育むためには、母語で絵本を読む環境にあることが大切であり、日本社会(地域社会)へも母語保持がいかに重要であるかを認識してもらえかがこれからの課題である。今後も図書館と協力して、参加しやすい環境を整え、外国人親子にとって社会との接点となる活動を継続していきたい。 | おやこでにほんごとよなか国際交流協会<br>市立図書館            |
| 99  | 市立図書館における多文化サービスの充実 | 外国人市民が図書館を利用するきっかけとなる事業や、地域の多文化共生を推進するための事業を図書館、とよなか国際交流協会、市民団体(地球ママくらぶ等)が連携して行う。 | 継続 | 継続 | おはなし会の回数<br>参加人数 | 東豊中・中国語でおはなし会1回60人、野畑1回90人、岡町1回子どもと本のまつり40人、千里5回99人計289人  | 平成20(2008)年度からとよなか国際交流協会主催事業の「絵本を楽しもう! Inコラボ(千里文化センター)～外国人親子の交流会」を実施した。いろいろな国の外国人の親子が集い、外国の料理作りや、絵本の読み聞かせなどのプログラムを通じて情報交換や交流を行った。(市立図書館)   | 市立図書館<br>市民団体(地球ママくらぶなど)<br>とよなか国際交流協会 |
|     | 市立図書館における多文化サービスの充実 | 外国人市民が図書館を利用するきっかけとなる事業や、地域の多文化共生を推進するための事業を図書館、とよなか国際交流協会、市民団体(地球ママくらぶ等)が連携して行う。 | 継続 | 継続 | おはなし会の回数<br>参加人数 | 東豊中・中国語でおはなし会1回60人、野畑1回90人、岡町1回子どもと本のまつり40人、千里5回99人計289人  | 今年度も、「おかまち・おやこでにほんご」による岡町図書館での「世界のことはおはなし会」は、演技手を引き受けられる状況にある外国人ママが揃わず、実施できなかった。庄内図書館での協働事業「しょうないR E K」でも、多文化共生を推進する事業としての多言語での読み聞かせを実施しなかった。しかし、新規事業として、千里図書館で「絵本を楽しもうinコラボ(千里文化センター)～外国人親子の交流会～」を実施し、これまでできていなかった千里地域に暮らす外国人親子に働きかける事業を行った(詳細は、no.102参照)。踏襲的に事業を行うのではなく、これまでの蓄積と課題を整理し、その年度の社会や地域状況と人的社会的リソースを踏まえて、何を行うべきか判断していく。次年度は、外国人市民のニーズ調査を行い、図書館サービスにおいてアクセスしやすい状況におかれている外国人のニーズをしっかりと把握し、利用者としての平等な機会を確保できる仕組みをつくる。具体的には、さまざまな分野の外国語書籍の蔵書の充実、ブックスタートや子育て支援事業と絡めて、外国人親子に図書サービスを多言語で知らせていくことで図書館利用につなげるなど。また、マジョリティ社会への多文化サービスとしては、「読書」や「ことば～母語と日本語～」を切り口として外国人親子が抱える課題を、マジョリティ社会に見えるような取り組みを、「世界のこどもの本の部屋」などを活用して行っていく。(とよなか国際交流協会)  | 市立図書館<br>市民団体(地球ママくらぶなど)<br>とよなか国際交流協会 |

| No. | 事業名                          | 事業内容  | 区分 | 状況 | 指標               | 平成20年度(2008年度)実績                                  |   | 関係部局・団体                           |
|-----|------------------------------|---|----|----|------------------|---|---|-----------------------------------|
|     |                              |   |    |    |                  | 実績  | 実施状況と課題   |                                   |
| 100 | 「おはなし会がやってきた！」(旧おはなし指導者派遣事業) | 子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。(58、83、135にも掲載していません。)                      | 継続 |    | おはなし会の回数<br>参加人数 | 7ヵ所で9回開催、参加人数は661人                                | 平成20(2008)年度より「おはなし会がやってきた!」として実施。民間保育所(園)4ヵ所(園)、支援学校1校(3回開催)、障害児通園施設2ヵ所でおはなし会を行った。事業をきっかけとして、実施園への団体貸出などの図書館サービスが始まった。   | 市立図書館                             |
| 101 | 子ども文庫での活動                    | 子ども文庫が地域の中で本に出会える場であるということをPRし、障害のある子どもや外国人の子どもも絵本やおはなしを楽しめる場となるよう、図書館やとよなか国際交流協会などと連携して活動する。 | 継続 |    |                  |   | 「子どもと本のまつり」で「(特活)国際交流の会とよなかTIFA」のメンバーによる多言語おはなし会を行った。韓国語やインドネシア語と日本語による読み聞かせを行った。今後も継続して参加し、文化の相互理解に繋がるようすすめていきたい。  | 豊中子ども文庫連絡会<br>市立図書館<br>とよなか国際交流協会 |
| 102 | 絵本講座の開催                      | 保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みを行う。  | 新規 |    |                  |   | 通園施設と連携しながら、図書館見学などの機会に絵本の楽しさや大切さを伝える講座の実施が可能か、検討する必要がある。また出前おはなし会「おはなし会がやってきた!」も、保護者の方に絵本の楽しさをお伝えする機会となっている。   | 市立図書館                             |
|     | 絵本講座の開催                      | 保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みを行う。  | 継続 |    | 回数<br>人数         | 実施回数6回、外国人大人20人、外国人子ども19人、日本人大人19人、日本人子ども16人、計74人 | 今年度の新規事業として、千里図書館、千里文化センター(コラボ)、とよなか国際交流協会により、「絵本を楽しもうinコラボ～外国人親子の交流会～」を行った。この事業は、絵本の読み聞かせのプログラムを通して、千里地域に暮らす外国人親子がつどい、生活情報や相談ができる場づくりであるが、毎回のプログラムに、図書館スタッフや協会・多言語スタッフが読み聞かせを盛り込み(日本語と母語)、外国人親子の読書推進事業の一環とした。また、図書館を利用したことのない外国人親子には、図書館案内と貸出カードの作成を行った。 | とよなか国際交流協会                        |
| 103 | 保護者への図書館利用の案内                | 障害のある子どもの保護者や障害のある保護者が子どもと一緒に図書館を利用しやすいように、利用の方法など図書館のサービスについて詳しく案内し、同時に保護者の声を聞く機会を定期的を持つ。    | 継続 |    |                  |   | あゆみ学園は、野畑図書館において図書館見学を実施した。その際に、図書館職員から図書館利用について、簡単な説明を行った。   | 市立図書館<br>通園施設                     |

| No. | 事業名               | 事業内容   | 区分 | 状況 | 指標                      | 平成20年度(2008年度)実績  |  | 関係部局・団体                                |
|-----|-------------------|--|----|----|-------------------------|---|--|--|
|     |                   |  |    |    |                         | 実績  | 実施状況と課題  |  |
| 104 | 図書館見学会            | 通園施設や支援学校の子どもと保護者に対して図書館見学会を行う。  | 継続 |    | 実施回数<br>参加人数            |   | 平成20(2008)年度は、園の空調設備機能回復工事が3ヵ月程度にわたって実施されたため、行事予定なども前後し、図書館見学会は実施しにくい状況となり、実施できなかった。   | しいの実学園                                 |
|     | 図書館見学会            | 通園施設や支援学校の子どもと保護者に対して図書館見学会を行う。  | 継続 |    | 実施回数<br>参加人数            | 親子23組<br>保育士15人   | 平成20(2008)年度も、単独クラスの親子と担任で、野畑図書館を見学した。おはなし会の後、本の借り出しを行った。新規に利用者カードを作られた方もおられた。今年度も貸切ということで、親子ともリラックスして楽しめた。また、今回は、見学後にアンケートをとった。(回収率91%)その結果「楽しかった。またして欲しい」が76%(貸切を含む)、「図書館のお話会に参加したい」が9%、「親子で図書館に行ってみたい」が14%、「図書館には行きづらい」は19%だった。また「図書館を利用したことがある」は57%と、思ったより多かった。ただ、「いったことがない人」は、5,6歳児の保護者で66%と高く、この年齢の子どもたちにとどのようにアプローチしていくかが課題となる。また、この年齢の保護者が、貸切を希望していることが多く、この取り組みの意義を感じる。将来的に、図書館が放課後の行き場所になりうるかも課題としておきながら、見学を続けていきたい。 | あゆみ学園                                  |
| 105 | 図書館見学会            | 外国人の子どもや保護者、その支援に関わる協力者に対して図書館見学会を行う。  | 継続 | ○  | 実施回数<br>参加人数            | おかまち・おやこ図書館見学会、1回実施、外国人大人1人、外国人子ども1人、ボランティア大人3人、ボランティア子ども1人、計6人 | 「おかまち・おやこでほんご」で実施した。また、今年度新規事業「絵本を楽しもうinコラボ～外国人親子の交流会～」において、千里図書館でも実施した。(詳細は、no.102参照)   | 市立図書館<br>とよなか国際交流協会<br>市民団体(地球ママくらぶなど) |
| 106 | 動く図書館による施設サービスの充実 | 動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ本を貸出する。動く図書館の巡回について、教職員や保護者の意見に対応し、各施設の読書環境の整備を支援する。 | 継続 |    | 動く図書館で巡回している施設数<br>貸出冊数 | 支援学校2校、通園施設2カ所、4,671冊   | 約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。平成20(2008)年度は、動く図書館車の更新やコンピュータプレイスによる運休期間があった。前年度に続き、各施設の職員と、情報交換する場を持てなかった。個別の要望については巡回時に聞き取りができていたが、改めて交流の場を定期的に持つことが課題である。   | 市立図書館                                  |
| 107 | 小児科病棟でのおはなし会の実施   | 市立豊中病院とおはなしボランティア(おはなしたまてばこ)、市立図書館が連携し、小児科病棟でのおはなし会を行う。                                    | 継続 |    | おはなし会の回数                | 48回   | 保育士さんの呼びかけもあり、毎週木曜日2～3人で実施。(メンバーは20人)第1～3週は、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、第4週は手作り工作と絵本の読み聞かせなど。小児科病棟主催の夏祭り、クリスマスパーティにも参加。同じ日に時間をずらして非感染室(感染しないように、注意する必要のある子どものためのプレイルーム)でのおはなし会も実施している。  | おはなしたまてばこ<br>市立豊中病院<br>市立図書館           |

| No. | 事業名           | 事業内容   | 区分 | 状況 | 指標 | 平成20年度(2008年度)実績 |  | 関係部局・団体 |
|-----|---------------|--|----|----|----|------------------|--|---------|
|     |               |  |    |    |    | 実績               | 実施状況と課題  |         |
| 108 | 「図書館バリアフリー宣言」 | だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、図書館のバリアフリー宣言をし、様々な場面でPRする。<br>〔124にも掲載しています。〕 |    | 継続 |    |                  | 平成19(2007)年度より引き続き図書館はだれもが気軽に立ち寄り、利用できる場所であることをアピールするため、バリアフリー宣言「図書館へようこそ」を館内で掲示するとともに、ホームページの利用案内のページに掲載し、周知を行った。 | 市立図書館   |

### 子どもの本や読書に関する情報提供

| No. | 事業名       | 事業内容  | 区分 | 状況 | 指標 | 平成20年度(2008年度)実績 |   | 関係部局・団体                               |
|-----|-----------|---|----|----|----|------------------|---|---------------------------------------|
|     |           |   |    |    |    | 実績               | 実施状況と課題   |                                       |
| 109 | 絵本などの情報提供 | 図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。<br>〔6、141にも掲載しています。〕    |    | 継続 |    |                  | 図書館のホームページをリニューアルし、こどものページや赤ちゃんのページを設けた。その中に赤ちゃん向けの絵本や教科書に載っている本の一覧を掲載している。ケーブルテレビでの本の紹介は未実施。 | 市立図書館                                 |
| 110 | 図書館のPR    | 渡日外国人児童生徒の相談窓口、外国人登録窓口、とよなか国際交流協会などで、多言語の図書館利用案内を配布する |    | 新規 |    |                  | 改訂作業中。  | 人権教育企画課<br>とよなか国際交流協会<br>市立図書館<br>市民課 |

### 読書環境の整備

| No. | 事業名            | 事業内容   | 区分 | 状況 | 指標                 | 平成20年度(2008年度)実績 |  | 関係部局・団体 |
|-----|----------------|--|----|----|--------------------|------------------|--|---------|
|     |                |  |    |    |                    | 実績               | 実施状況と課題                                    |         |
| 111 | 市立図書館の外国語資料の充実 | 関係団体と協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、市立図書館の外国語資料を購入や寄贈によって充実するとともに、岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。<br>〔151にも掲載しています。〕 |    | 拡充 | 新規<br>受入冊数<br>所蔵冊数 | 95冊、<br>8,851冊   | 購入内訳(中国語32冊、英語26冊、韓国語20冊、ブラジル語13冊、フランス語4冊) | 市立図書館   |

| No. | 事業名   | 事業内容   | 区分 | 状況  | 指標             | 平成20年度(2008年度)実績 |  | 関係部局・団体 |
|-----|-------|--|----|-----|----------------|------------------|--|---------|
|     |       |  |    |     |                | 実績               | 実施状況と課題  |         |
| 112 | 資料の充実 | 図書の購入や市立図書館の団体貸出、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。<br>〔154をご参照ください。〕                  | 継続 |     |                |                  | 月1回の動く図書館を利用している。学校の規模が小さいため、学校図書館がなかなか充実できない。そのため動く図書館は、本に触れる貴重な機会となっている。実際に多くの図書の中から自ら選書することの喜びや、見たい読みたい本があるか思いつつ探すときの期待感もあり、楽しく利用させてもらっています。  | 刀根山支援学校 |
|     | 資料の充実 | 図書の購入や市立図書館の団体貸し出し、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。<br>〔154をご参照ください。〕                | 継続 |     |                |                  | 動く図書館の団体貸し出し、リサイクル図書を利用することで一定の図書の充実を図っている。利用したい本はあらかじめ動く図書館に連絡を取り、次回の巡回日に持参していただいている。また、リサイクル図書の配本の情報をいただいたとき、職員間で希望の本について前もってチェックしておき、現物があれば提供していただいている。今後もこのような便宜を図っていただくことで図書の充実を図りたい。 | しいの実学園  |
|     | 資料の充実 | 図書の購入や市立図書館の団体貸し出し、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。<br>〔154をご参照ください。〕                | 継続 |     |                |                  | 大型絵本など、なかなか買えない本を動く図書館で借りることで、いろいろな絵本の楽しみを提供できた。また、デイサービスでも、幼稚園にいらっしゃる子を対象としたクラスの絵本を充実させることもできた。リサイクル図書を利用することで、園バスに置く本も増えている。どんな本をおきたいか、ということを各クラスの職員がよく考えるようになってきた。                      | あゆみ学園   |
|     | 資料の充実 | 図書の購入や市立図書館の団体貸し出し、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。<br>〔154をご参照ください。〕                | 継続 |     |                |                  | 月に一度、動く図書館を利用している。小、中、高等部の児童・生徒が昼休みに本やCDを選んで借りている。学校で購入できる本は限られているので、新しい本やCDがある図書館を楽しみにしている。小学一年生の児童の中には早速本を借りて喜々とした表情を見せる子もいた。教員も利用して教材として授業などに役立っている。                                    | 豊中支援学校  |
| 113 | 資料の充実 | 図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映する。<br>〔150にも掲載しています。〕 | 継続 |     |                |                  | 図書館からの資料などについての情報を受け、学校の資料充実に向けて活用している。今後も選書の参考とするため、とくに中高生向けを中心とした情報を希望する。教職員は教材作りに役立っている。  | 刀根山支援学校 |
|     | 資料の充実 | 図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映する。<br>〔150にも掲載しています。〕 | 継続 |     |                |                  | 選書に反映されるよう、園で活用したい図書名を市立図書館や、動く図書館へ情報提供している。   | しいの実学園  |
|     | 資料の充実 | 図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映する。<br>〔150にも掲載しています。〕 | 継続 | 施設数 | 支援学校2校、通園施設2カ所 |                  | 施設や学校で活用される資料の、要望やニーズについて巡回時に情報交換している。そして動く図書館車に積み込む資料に反映して、施設や学校の読書環境の整備につとめている。課題としては、施設の職員や保護者が入れ替わるたびに、継続的に交流の場を持つことがあげられる。利用方法についても、年度初めに案内を配布しているが、直接説明を実施することがのぞましい。                | 市立図書館   |

| No. | 事業名      | 事業内容   | 区分 | 状況 | 指標 | 平成20年度(2008年度)実績 |  | 関係部局・団体    |
|-----|----------|--|----|----|----|------------------|--|------------|
|     |          |  |    |    |    | 実績               | 実施状況と課題  |            |
| 114 | 外国語資料の整備 | 英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。また市立図書館とよなか国際交流協会が資料の情報を共有し、分担収集をするなど、ともに蔵書の充実を進める。                    | 継続 |    |    | 貸出冊数16冊          | とよなか国際交流協会では、言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、平成19(2007)年度より「多文化子ども読書推進事業」を立ち上げ、外国語絵本コーナーを整備し、多言語による国際交流センター図書案内を作成した(日本語も含め8言語)。今年度は、外国につながる子どもたちの参加する事業(多文化子ども保育にここに、子ども母語、日本語・学習支援サンプルイスなど)で、絵本を使った活動を積極的に行い、保護者には貸出サービスを紹介した。中学生も含め、16冊の貸し出しがあった。次年度は外国人市民のニーズ調査を行い、外国につながる子どもたちの発達段階で抱える問題と絡めた読書推進や、就学後も日常の中にかねらの豊かな成長を育む読書環境(ルーツのこばや文化と出会える本の設置など)を充実させるために、市立図書館と協会が持つ外国語資料を活用できる条件整備を、学校現場も含めた関係機関と連携して進める(蔵書検索や団体貸し出しの仕組みづくりなど)。 | とよなか国際交流協会 |
|     | 外国語資料の整備 | 英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。また市立図書館とよなか国際交流協会が資料の情報を共有し、分担収集をするなど、ともに蔵書の充実を進める。<br>[152にも掲載しています。] | 継続 |    |    |                  | 平成20(2008)年3月の図書館システムのリニューアルに伴い、多言語対応の環境は整備されている。未整備の多言語のデータ作成が課題となっている。また図書館のホームページを通して、外国語の図書の寄贈を呼びかけている。  | 市立図書館      |
| 115 | 団体貸出のPR  | 関係機関・団体に向けて団体貸出の制度をPRし、冊数や期間など各施設の状況に応じて団体貸出を行う。   | 継続 |    |    |                  | 「おはなし会がやってきた!」やおはなしボランティアの講座などの機会を通じて、団体貸出の制度を説明している。また今年度は民間保育所(園)への聞き取り調査においても、団体向けのサービスとして団体貸出や配本についての案内を行った。今後とも、各施設や団体の子どもの読書に関する状況を把握し、それに応じたサービスを行う必要がある。   | 市立図書館      |



| No. | 事業名             | 事業内容   | 区分 | 状況           | 指標  | 平成20年度(2008年度)実績 |  | 関係部局・団体                           |
|-----|-----------------|--|----|--------------|-----|------------------|--|-----------------------------------|
|     |                 |  |    |              |     | 実績               | 実施状況と課題  |                                   |
| 116 | 排架やサインの見直し      | 利用者が図書館職員に相談しやすい雰囲気づくりに努め、市立図書館の資料を利用しやすいよう、サインや排架の見直しを行う。 | 継続 |              |     |                  | 「図書館へようこそ」のポスターを館内に掲示し、(HPにも同様に掲載)日ごろから声をかけてもらえる雰囲気づくりにつとめている。<br>・入ってすぐの目につきやすい書架にも「こどもがはじめてであらう絵本」コーナーを移動し、全体数も増やした。(服部図書館)<br>・図書館見学や講座毎に積極的に声かけを行う。(蛭池図書館)<br>・児童書コーナーにある検索パソコンのそばに配布用の児童図書コーナー案内図を置き、コーナー内には本の探し方を説明したポスターを掲示した。平成20(2008)年2月リニューアルオープンに伴い、収納と見通しをよくするために、各分類と絵本の棚を上板がないものに替えた。絵本コーナーは棚の上段はすべて表紙見せし、シリーズはまとめて探しやすくした。(千里図書館)<br>・絵本コーナーの入り口に「読み継がれた絵本」と「はじめて出会う絵本」を置くように配置換えをした。また2つの場所に分かれていた「ちしきの絵本」を1つにまとめて探しやすくした。(庄内図書館) | 市立図書館                             |
| 117 | 多言語の利用案内やサインの作成 | 子ども向けの利用案内やサインなどを多言語で対応できるものにする。                           | 新規 |              |     |                  | カウンターでの意思疎通を図るための指差しコミュニケーションカードと館内掲示等に使用するための文例集を日本語も含めて8言語で作成中。平成21(2009)年度に完成を予定している。   | 市立図書館<br>国際交流協会<br>市民団体(しょうないREK) |
| 118 | 入院中の子どもの読書環境整備  | 市立豊中病院と市立図書館が連携し、患者用図書室などを充実し、入院中の子どもの読書環境を整備する。           | 継続 | 病院への団体貸出しの冊数 | 24冊 |                  | 昨年度に引き続き小児病棟へ絵本などの長期貸出を実施。   | 市立豊中病院<br>市立図書館                   |

### 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

### 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

| No. | 事業名            | 事業内容  | 区分 | 状況 | 指標                        | 平成20年度(2008年度)実績 |  | 関係部局・団体             |
|-----|----------------|---|----|----|---------------------------|------------------|--|---------------------|
|     |                |   |    |    |                           | 実績               | 実施状況と課題  |                     |
| 119 | ボランティア活動への支援   | 録音図書、点字図書や拡大写本など、障害のある子どもに有効なメディアを研究し、製作に携わるボランティアを育成・支援する。         | 継続 |    | 音訳ボランティアフォーアップ講座などの回数参加人数 | 2回16人            | 図書館による講座の開催などで研修の場を提供し、ボランティア活動の支援としているが、児童書の録音図書、点字図書のタイトル数は少ない。引き続き子どもに有効なメディアの研究や障害児通園施設、支援学校等と連携しながら子どものニーズを探ることが今後の課題となる。 | 市立図書館<br>ひまわり教育センター |
| 120 | おはなしボランティアへの支援 | 障害のある子どもや入院中の子ども、外国人の子どもに向けておはなし会を行うボランティアに対して市立図書館が図書資料や情報などを提供する。 | 継続 |    |                           |                  | 「おかまち・おやこでにほんご」の活動で利用する絵本や紙芝居などの資料を提供している。また市立豊中病院の小児病棟でおはなし会を実施している「おはなしたまてばこ」への団体貸出を行なっている。                                  | 市立図書館               |



子どもに関わる大人への啓発と研修

| No. | 事業名          | 事業内容  | 区分 | 状況 | 指標         | 平成20年度(2008年度)実績 |   | 関係部局・団体               |
|-----|--------------|---|----|----|------------|------------------|---|-----------------------|
|     |              |   |    |    |            | 実績               | 実施状況と課題   |                       |
| 121 | 市民向けの啓発事業の実施 | 市民に向けて、障害のある子どもに対して理解を求める取り組みや啓発を行う。                  |    | 継続 | 回数<br>参加人数 | 1回<br>215人       | 平成20(2008)年度の「子どもと本のつどい パート1」において児童精神科医で自閉症治療教育プログラム「TEACCH」の研究にも携わっておられる佐々木正美さんの講演会「子どもへのまなざし」を実施。講演会でのお話のメインは乳幼児期からのコミュニケーションの大切さについてであったが、質疑応答のなかで障害によりコミュニケーションの難しい子どもについてのお話なども聞くことができた。 | 市立図書館<br>通園施設<br>支援学校 |
| 122 | 職員の研修        | 障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く状況など、多様な子どもの情報を共有できるよう教職員の研修を行う。 |    | 拡充 | 実施回数       | 5回               | あゆみ・しいの実の両園で、親子クラスについて、互いの保育の公開と勉強会を行い、それぞれのこどものおかれている状況、親子関係についてなどを学びあった。また、両園で講師を招いて合同研修などにも取り組み、保育のスキルアップにつないでいった。   | 通園施設                  |
|     | 職員の研修        | 障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く状況など、多様な子どもの情報を共有できるよう教職員の研修を行う。 |    | 拡充 | 職員研修の参加人数  | 1回<br>8人         | 平成19(2007)年度の「おはなし指導者派遣事業」で通園施設や支援学校でおはなし会を実施したグループと、図書館のこども室担当職員で話し合いを行った。長年にわたって障害のある子どもたちへのおはなし会を行っているグループと意見交換をすることで、事業の振り返りとともに担当職員の研修の機会となった。   | 市立図書館                 |
| 123 | 情報交流と研修      | 図書館や各施設で行う研修の情報を共有し、研修の機会を広げる。<br>〔76、163をご参照ください。〕   |    | 拡充 |            |                  | 平成20(2008)年度の「子どもと本のつどい パート1」において児童精神科医で自閉症治療教育プログラム「TEACCH」の研究にも携わっておられる佐々木正美さんの講演会「子どもへのまなざし」を実施。講演会の開催にあたって、通園施設の職員へ情報の提供と講演会への参加の呼びかけを行った。  | 市立図書館                 |